

VI 健康生活支援課の業務概要

健康危機管理体制の整備

「高病原性鳥インフルエンザウイルス」・「新型インフルエンザウイルス」・「新型コロナウイルス」等による新たな感染症や食中毒などの県民の生命や健康の安全を脅かす事案に対応するため、平時から健康危機に関する情報を把握しながら、関係機関・関係団体と連絡を密にし、地域における医療提供体制の確保に努めている。

<疾病対策に関すること>

1 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という）に基づき、結核患者の病状管理及び治療完遂に向け、保健師による訪問、面接、電話等の地域DOTSを行い、治癒の促進、早期の社会復帰及び再発防止等の患者管理に努めている。

結核患者の動向をみると、令和5年の新登録患者数は12名で、前年に比べ減少している。

新登録肺結核患者のうち喀痰塗抹陽性患者の割合は28.6%、罹患率は人口10万対6.2であり、喀痰塗抹陽性患者の割合は前年の52.9%と比べ低くなり、罹患率も前年の人口10万対10.8と比べ減少した。

結核患者発生時には、積極的疫学調査により接触者健診を徹底し、潜在性結核患者等の発見に努め、指導・支援を行っている。

2 感染症予防事業

令和5年は、感染症法に基づく1類・2類(結核を除く)の発生はなかったが、新型インフルエンザ等感染症である新型コロナウイルス感染症は、1,718件の発生があった。新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日以降5類定点把握疾患となった。

なお、4類感染症はE型肝炎3件、つがつむし病1件、レジオネラ症2件の発生があり、5類感染症はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症3件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、後天性免疫不全症候群1件、侵襲性肺炎球菌感染症1件、梅毒11件の発生があった。

感染症法に基づく疾患やその他集団発生の疑われる事案については、速やかに関係機関と連携を図り、積極的疫学調査を実施し、感染原因、感染経路等の把握に努め感染拡大防止等を行っている。

また、感染症の集団発生を防止するため、集団給食施設従事者や食品取扱事業者に対し検便を勧奨した。

3 エイズ・肝炎対策事業

エイズのまん延を防止するために「正しい知識の普及・啓発」と「相談検査体制の充実」を柱に、各種対策を行っている。

平成18年度からエイズ抗体検査の即日検査と偶数月における夜間検査を実施しており、平成29年度からは、夜間は通常検査とした。令和5年度は、139件の検査を行い、併せて性感染症等（梅毒・肝炎・性器クラミジア・淋菌）の検査も実施した。

また、青少年に対するエイズ等性感染症対策として、正しい知識の普及啓発を目的として管内の高等学校等を対象とした講習会等、及び普及啓発イベントを実施してきた。令和5年度は、管内高等学校2校に講習会を実施した。

肝炎対策としては、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業（平成27年10月1日開始）により、肝炎ウイルス検査陽性者に対し、受診勧奨を行うとともに精密検査費用助成事業等について周知し、フォローアップにつなげている。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、管内で被爆者健康手帳を交付されている者は令和5年度末28名である。各種手当の支給とともに、被爆時の健康管理の一環として健康診断を年2回実施しており、受診者数は延べ5名であった。

<生活衛生に関すること>

5 食品衛生事業

当所管内における食品営業許可施設は2,665施設であり、令和5年度の管内における食中毒の発件数は3件であった。

食品による健康被害の発生防止を図るため、施設や消費者に対して食品の安全確保に係る事業を実施した。

事業内容としては、食品衛生監視計画に基づいた監視指導や食品検査を食品機動監視課と連携して実施し、食中毒の発生防止や違反食品等の排除、食品表示の適正化を図った。また、食品関係従事者に対して講習会を開催して衛生管理の再認識及び意識の向上を促した。

6 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

「狂犬病予防法」、「千葉県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、市町及び関係団体の協力を得て、犬の登録・狂犬病予防接種の促進、動物による危害発生防止及び飼い主に対する適正飼養の推進を図っている。動物の飼い方に関する苦情については、個別に飼い主指導を行うとともに、パンフレットや市町広報紙等により適正飼養の啓発を行った。

また、特定動物及び動物取扱業の施設に立ち入り、施設基準の適合状況・管理方法等について検査・指導を行った。

なお、飼えなくなった犬及び猫の引取りについては、安易な引取依頼を減少させるため平成18年6月からは有料化し、平成23年度には手数料の改定を行うとともに、引取依頼する方に対し飼い主としての責任を果たすよう再考を促す指導、新たな飼い主探しに関する助言を強化している。

7 環境衛生事業

旅館・公衆浴場・興行場・理容所・美容所・クリーニング所の営業関係施設、水道、特定建築物、遊泳用プール等の住民に密着した施設の許認可事務及び立入検査並びに各種の相談の対応を行い、法令等の遵守と適正管理の指導を行なっている。

なお、水道施設に関する権限が、平成25年4月1日水道法の一部改正により管内各市へ移譲された。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 21年	平成 26年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
区分								
管内人口		219,446	211,443	200,718	203,120	196,341	194,843	192,871
新登録患者数		19	24	12	16	13	21	12
年末時登録者数		45	50	40	51	23	16	31
結核死亡者数	管内	1	6	1	4	1	2	1
	千葉県	62	55	62	68	71	60	47
結核死亡率 (人口10万)	管内	0.0	2.8	0.5	2.0	0.5	1.0	0.5
	千葉県	1.2	1.1	1.2	1.3	1.3	1.1	0.9
罹患率 (人口10万)	管内	8.7	11.4	6.0	7.9	6.6	10.8	6.2
	千葉県	17.2	13.8	11.1	9.8	8.7	7.5	7.6
有病率 (人口10万)	管内	6.8	6.6	4.0	3.0	2.5	8.2	4.1
	千葉県	11.9	8.8	6.9	5.9	5.2	4.9	4.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 / 人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 / 人口

⑤千葉県の罹患率・有病率は速報値

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位:人)

区分 年 市町	活動性結核						(罹 人口 10 万 対) 率	占 塗 肺 結 核 の う ち の 割 合 (%)	(潜 在 性 結 核 感 染 症) 無 症 状 病 原 体 保 有 者	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体
	活動性肺結核					肺活 外 動 結 核 性						
	総 数	計	陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性 の 他 性	そ 菌 の 陰 他 性							
令和3年	13	10	8	2	-	3	6.6	80.0	7	-	-	-
令和4年	21	17	9	6	2	4	10.8	52.9	10	-	-	-
令和5年	12	7	2	4	1	5	6.2	28.6	8	-	-	-
東金市	3	1	-	-	1	2	5.2	0.0	2	-	-	-
山武市	4	3	1	2	-	1	8.6	33.3	-	-	-	-
大網白里市	4	2	1	1	-	2	8.4	50.0	4	-	-	-
九十九里町	1	1	-	1	-	-	7.3	-	-	-	-	-
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横芝光町	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

区分 年 市町	総 数	活動性結核						不 活 動 性 結 核	不 明	(有 病 10 万 対) 率	(別掲) 無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)			
		計	計	陽 喀 痰 塗 性 抹	登 録 時 の 他 性	結 核 菌 陽 性 の 他 性	登 録 時 の 陰 他 性				登 録 時 の 他 性	肺活 外 動 結 核 性	治 療 中	観 察 中
令和3年	23	5	4	3	1	-	1	4	14	2.5	4	16		
令和4年	16	16	14	6	5	3	2	-	-	8.2	2	2		
令和5年	31	8	6	3	2	1	2	1	22	4.1	7	4		
東金市	8	2	1	1	-	-	1	-	6	3.5	3	1		
山武市	7	3	3	1	2	-	-	1	3	6.4	-	2		
大網白里市	9	2	1	1	-	-	1	-	7	4.2	3	-		
九十九里町	5	1	1	-	-	1	-	-	4	7.3	-	-		
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
横芝光町	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1		

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
令和3年	13	-	-	-	1	-	1	1	3	2	5
令和4年	21	-	-	2	-	1	4	2	5	4	3
令和5年	12	-	-	1	2	1	3	-	-	5	-
東金市	3	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
山武市	4	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-
大網白里市	4	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-
九十九里町	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横芝光町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
令和3年	23	-	-	3	2	1	3	2	5	1	6
令和4年	16	-	-	4	1	-	2	1	4	1	3
令和5年	31	-	-	4	3	2	5	2	8	5	2
東金市	8	-	-	-	2	1	2	1	2	-	-
山武市	7	-	-	3	1	1	1	-	1	-	-
大網白里市	9	-	-	1	-	-	1	1	2	3	1
九十九里町	5	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横芝光町	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

(6) 患者面接実施状況

表1 - (6) 患者面接実施状況

区分 年		人数(人)	DOTS 内容 (延件数)															
			登録時喀痰塗抹陽性								喀痰塗抹陰性				潜在性結核			
			入院時			退院後					訪問 面接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局	訪問 面接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局
			訪問 回数	左の内訳			訪問 面接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局								
初 回	期 間 内	退 院 前																
令和3年	保健師	4	10	7	3	-	8	10	34	-	10	-	37	-	3	3	40	-
	DOTS支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	保健師	4	9	7	2	-	5	5	17	-	10	18	59	-	12	1	53	-
	DOTS支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	保健師	4	5	3	2	-	9	7	31	-	26	16	69	-	32	1	71	-
	DOTS支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	患者数(人)		5								16				11			

(7) DOTS 実施状況

表1 - (7) DOTS 実施状況 (単位:人)

区分 年		全 結 核 患 者	肺 結 核 患 者 (再 掲)		潜 在 性 結 核 感 染 症
			肺 結 核 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 (再 掲)		
			実 施 者 数	患 者 数 ※	
令 和 3 年	実 施 者 数	16	11	4	4
	患 者 数 ※	16	11	4	4
令 和 4 年	実 施 者 数	17	15	7	10
	患 者 数 ※	17	15	7	10
令 和 5 年	実 施 者 数	12	8	4	6
	患 者 数 ※	12	8	4	8

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和3年	13	13	100.0	17	9	-	8	-	-	13	-	-	-	-
令和4年	25	25	100.0	29	27	-	2	-	-	27	-	1	-	-
令和5年	18	17	94.4	18	18	-	-	-	-	16	-	1	-	-
保健所				11	11	-	-	-	-					
委託分				7	7	-	-	-	-					
その他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和3年	100	100	100.0	114	44	1	69	-	-	98	2	-	-	-
令和4年	123	118	95.9	122	91	-	31	-	-	110	2	6	-	-
令和5年	105	104	99.0	105	84	0	21	-	-	98	4	2	0	0
保健所				56	55	-	1	-	-					
委託分				48	29	-	19	-	-					
その他				1	-	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
令和3年	22	22	100.0	38	34	2	2	10	12	-	-
令和4年	17	17	100.0	19	17	1	1	6	11	-	-
令和5年	22	22	100.0	33	31	1	1	2	20	-	-
保健所 委託分 その他				-	-	-	-				
				33	31	1	1				
				-	-	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
令和3年	30	30	-	11	11	-	1	1	-	6	6	-	11	11	-	1	1	-	-	-	-
令和4年	38	38	-	8	8	-	6	6	-	11	11	-	9	9	-	4	4	-	-	-	-
令和5年	35	35	-	6	6	-	4	4	-	7	7	-	16	16	-	2	2	-	-	-	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族					
令和3年	8	2	-	1	5	-	-	
令和4年	9	2	1	1	5	-	-	
令和5年	4	2	-	-	2	-	-	

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
令和3年	9
令和4年	9
令和5年	4

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
令和3年	9	9	6
令和4年	9	9	12
令和5年	3	3	6

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分 年	入院措置数
令和3年	-
令和4年	-
令和5年	-

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位: 件)

区分 年	ツ反検査数 (延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学 児	小学 生	その 他
令和3年	-	1	1	-	-	1	-	-
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	-	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位: 件)

区分 年	IGRA検査数 (延件数)		結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定保 留	陽性	判定不 可
令和3年	4	40	42	-	2	-
令和4年	15	76	81	1	9	-
令和5年	66	36	94	1	7	-

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況 (単位: 件)

区分	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
令和3年	33	74	29	44	4	30
令和4年	3	47	-	33	3	14
令和5年	1	50	1	19	-	31

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
	令和3年		80,268	16,412	20.4	6,871	9,541	173	-	-
令和4年		81,504	17,932	22.0	6,193	11,739	150	-	-	-
令和5年		82,543	27,788	33.7	3,959	23,805	123	-	-	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	3,652	3,602	98.6	2,006	1,596	-	-	-	-
	福祉施設入 所者 (65歳以上)	1,864	1,816	97.4	378	1,408	-	-	-	-
	その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	7,669	7,482	97.6	1,575	5,913	28	-	-	-
	市町長	69,358	14,888	21.5	-	14,888	95	-	-	-

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町
令和5年	—	0	—

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町
令和5年	—	0	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

病類 年・市町	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和3年	9	0	0	9	0	0
令和4年	0	0	0	0	0	0
令和5年	4	0	0	3	1	0
東金市	1	0	0	1	0	0
山武市	1	0	0	1	0	0
大網白里市	1	0	0	0	1	0
九十九里町	0	0	0	0	0	0
芝山町	0	0	0	0	0	0
横芝光町	0	0	0	0	0	0
その他 (管外)	1	0	0	1	0	0

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和3年	令和4年	令和5年
1	E型肝炎	1	1	3
2	ウエストナイル熱	0	0	0
3	A型肝炎	0	0	0
4	エキノコックス症	0	0	0
5	エムポックス	0	0	0
6	黄熱	0	0	0
7	オウム病	0	0	0
8	オムスク出血熱	0	0	0
9	回帰熱	0	0	0
10	キャサヌル森林病	0	0	0
11	Q熱	0	0	0
12	狂犬病	0	0	0
13	コクシジオイデス症	0	0	0
14	ジカウイルス感染症	0	0	0
15	重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。)	0	0	0
16	腎症候性出血熱	0	0	0
17	西部ウマ脳炎	0	0	0
18	ダニ媒介脳炎	0	0	0
19	炭疽	0	0	0
20	チグングニア熱	0	0	0
21	つつが虫病	1	1	1
22	デング熱	0	0	0
23	東部ウマ脳炎	0	0	0
24	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9) を除く)	0	0	0
25	ニパウイルス感染症	0	0	0
26	日本紅斑熱	0	0	0
27	日本脳炎	0	0	0
28	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
29	Bウイルス病	0	0	0
30	鼻疽	0	0	0
31	ブルセラ症	0	0	0
32	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
33	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
34	発しんチフス	0	0	0
35	ボツリヌス症	0	0	0
36	マラリア	0	0	0
37	野兎病	0	0	0
38	ライム病	0	0	0
39	リッサウイルス感染症	0	0	0
40	リフトバレー熱	0	0	0
41	類鼻疽	0	0	0
42	レジオネラ症	1	0	2
43	レプトスピラ症	0	0	0
44	ロッキー山紅斑熱	0	0	0

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和3年	令和4年	令和5年
1	アメーバ赤痢	0	0	0
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0	0
3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	0	3
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	0	0
6	クリプトスポリジウム症	0	0	0
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1
9	後天性免疫不全症候群	0	0	1
10	ジアルジア症	0	0	0
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0
13	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	1
14	水痘(入院例に限る。)	0	0	0
15	先天性風しん症候群	0	0	0
16	梅毒	2	4	11
17	播種性クリプトコックス症	0	1	0
18	破傷風	0	0	0
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
21	百日咳	5	0	0
22	風しん	0	0	0
23	麻しん	0	0	0
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表 2 - (5) - イ - (ア) - a 患者定点医療機関数 (単位：箇所)

インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
6	4	1	2	1	0

b 定点把握対象疾患

表 2 - (5) - イ - (ア) - b 定点把握対象疾患状況 (単位：人)

疾患名		令和3年	令和4年	令和5年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	4	35	2,300
2	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	-	-	1,998
3	RSウイルス感染症	107	52	15
4	咽頭結膜熱	14	12	224
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	3	86
6	感染性胃腸炎	766	870	750
7	水痘	22	11	6
8	手足口病	6	164	19
9	伝染性紅斑	4	5	1
10	突発性発しん	60	39	29
11	ヘルパンギーナ	36	66	82
12	流行性耳下腺炎	19	18	9
13	急性出血性結膜炎	1	2	1
14	流行性角結膜炎	12	7	18
15	性器クラミジア感染症	23	21	26
16	性器ヘルペスウイルス感染症	13	10	12
17	尖圭コンジローマ	10	9	8
18	淋菌感染症	11	15	13
19	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	86	105	99
20	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0
21	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0
22	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	0	0	0
23	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
24	無菌性髄膜炎	0	0	0
25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
26	メチシリン耐性黄色ブドウ菌感染症	0	0	0
27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

※ 2の疾患は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	1	1	0	1
検体提供数 (件)	0	0	0	0

(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況

表 2 - (6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況 (発生届受理数)

(単位：人)

年	疾 患 名	人 数	市 町 村
令和 5 年	新型コロナウイルス感染症	484	東金市
		368	山武市
		371	大網白里市
		181	横芝光町
		194	九十九里町
		120	芝山町

※ 新型コロナウイルス感染症は令和 5 年 5 月 8 日から 5 類定点把握疾患となった。

(7) その他

表 2 - (7) インフルエンザ様疾患届出状況

(単位：件)

年度 区分	区 分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
				学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
令和 3 年度		0	0	0	0	0	0
令和 4 年度		12	152	11	1	0	0
令和 5 年度		128	1,775	71	53	4	0
	保 育 園	0	0	0	0	0	0
	幼 稚 園	2	18	0	2	0	0
	小 学 校	95	1,390	46	45	4	0
	中 学 校	26	316	20	6	0	0
	高 等 学 校	5	51	5	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度 \ 病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和5年度	—	0	0

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況(結核は除く)

年度 \ 病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和5年度	—	0	0

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人),検便(件))

年度 \ 病類	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
令和3年度	10	38	0	0	0	0	10	38	0	0	0	0	2
令和4年度	4	7	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	0
令和5年度	5	53	0	0	0	0	4	10	1	43	0	0	0

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症健康調査状況(単位:調査(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和5年度	E型肝炎	3人
	エムポックス(疑い)	1人
	つつが虫病	1人
	レジオネラ症	2人

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症健康調査状況 (単位:調査(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和5年度	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4人・1件
	麻しん(疑い)	1人・0件
	インフルエンザ	79人・2件
	感染性胃腸炎	103人・2件
	新型コロナウイルス感染症	1,402人・43件

※ 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

表2-(8)-カ 新型インフルエンザ等感染症健康調査状況

(単位:(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和5年度	新型コロナウイルス感染症	77人・0施設

※ 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

区分 年度	総 数	(人) 管外での 発生に伴う 調査数 (検疫通報除く)	検査 実施者 及び 同行者 調査数 (人)	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 及 び 同 行 者 調 査 数 (人)	検 便 実 施 者 数 (件)	検出菌(件)			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	3	3	0	3	0	0	0	0	0
令和5年度	2	2	0	2	0	0	0	0	0

(10) 衛生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数

表2-(10) 衛生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数 (単位: 件)

年 度	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
令和5年度	腸チフス	0	43	43
	腸管出血性大腸菌感染症	0	10	10
	E型肝炎	0	1	1
	エムポックス	0	1	1
	つつが虫病	1	0	1
	感染性胃腸炎	17	16	33

(11) 就業制限・入院勧告通知数 (結核を除く)

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位: 件)

年度	疾 患 名			計
	腸チフス	腸管出血性大腸菌感染症	新型コロナウイルス感染症	
令和3年度	0	10	2,059	2,069
令和4年度	0	1	0	1
令和5年度	1	1	0	2

表2-(11)-イ 入院勧告通知数 (単位: 件)

年度	疾 患 名	計
	新型コロナウイルス感染症	
令和3年度	373	373
令和4年度	709	709
令和5年度	5	5

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
令和5年 10月 16日	山武保健所 大会議室	講演「高齢者施設における施設内感染 対策について」 講師 東千葉メディカルセンター 感染管理認定看護師 阿内 剛氏 情報提供「感染症発生時の保健所への 報告について」「結核予防事業について」 講師 山武保健所 結核・感染症担当	高齢者施 設の看護 師及び介 護に携わ る職員等	27

※ 保健所保健・福祉サービス調整推進事業で実施

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催日	参加人数	主な内容

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
令和5年 6月27日 ・8月2日	43	新型インフルエンザ等の感染症発生時の対応に備え、保健所職 員を対象に個人防護具の着脱訓練及び N95 マスクの装着訓練 を実施
令和6年 1月19日	21	高根病院(第二種感染症指定医療機関)と東千葉メディカルセ ンター合同で山武保健所感染症患者移送訓練を実施
令和6年 3月1日	19	東千葉メディカルセンター主催 第4回感染症対策向上加算 に係る連携カンファレンス及び新興感染症の発生を想定した 患者移送訓練において、検体搬送・患者移送と情報伝達訓練を 実施

3 エイズ・肝炎対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和5年 12月19日	横芝敬愛高等 学校	青少年に 対するエイ ズ等性 感染症対 策講習会	性感染症とエイ ズに関するお話	3学年生 徒及び教 職員	生徒 52名 教職員 4名
令和5年 12月20日	千葉県立大網 高等学校	青少年に 対するエイ ズ等性 感染症対 策講習会	性の健康/リレ ーションシップ 教育講座 性感 染症ってなんだ ろう？	全校生徒 及び教職 員	生徒 360名 教職員 20名

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和5年 9月30日	エイズ予防啓発キャンペーン 千葉県立松尾高等学校にてポスター・パネル掲示、啓発 物資配布、啓発クイズを実施
令和5年 11月11日	エイズ予防啓発キャンペーン 城西国際大学にてポスター・パネル掲示、啓発物資の配 布、啓発クイズを実施
令和5年 11月27日～ 12月14日	エイズ予防啓発キャンペーン 当センターにてポスター・パネル掲示、啓発物資配付
令和5年12月1日	エイズ予防啓発キャンペーン 東金駅にてポスター掲示、駅前で啓発物資配付

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況 (単位: 件)

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
令和3年度		電話相談	7	3	9	33
		来所相談	17	7	24	
		その他	0	0	0	
令和4年度		電話相談	10	4	14	31
		来所相談	13	4	17	
		その他	0	0	0	
令和5年度		電話相談	12	7	19	84
		来所相談	47	18	65	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位: 件)

年度 年齢階級	性別	性別			外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女	合計		
令和3年度		15	7	22	0	0
令和4年度		15	7	22	0	0
令和5年度		98	41	139	5	0
年齢 階級	～19歳	0	0	0	0	0
	20歳～29歳	27	16	43	1	0
	30歳～39歳	18	13	31	0	0
	40歳～49歳	27	6	33	3	0
	50歳～59歳	13	3	16	1	0
	60歳～	13	3	16	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況

(単位: 件)

年度	検査 性別	クラミジア・ 淋菌検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
								C型肝炎検査			B型肝炎検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和3年度		22	15	7	21	14	7	21	15	7	21	14	7
令和4年度		25	19	6	25	20	5	26	20	6	27	21	6
令和5年度		125	88	37	140	99	41	140	99	41	139	98	41

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和3年度		38(-)	1	-	-	4	35(-)
令和4年度		35(-)	-	-	-	5	30(-)
令和5年度		30(-)	-	1	-	3	28(-)
	東金市	12(-)	-	1	-	3	10(-)
	山武市	5(-)	-	-	-	-	5(-)
	大網白里市	8(-)	-	-	-	-	8(-)
	九十九里町	3(-)	-	-	-	-	3(-)
	芝山町	- (-)	-	-	-	-	- (-)
	横芝光町	2(-)	-	-	-	-	2(-)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和3年度	保健所	前期	35	2	5.7	0
		後期	35	5	14.3	0
	委託医療機関		-	5	-	2
令和4年度	保健所	前期	35	3	8.6	0
		後期	35	3	9.1	0
	委託医療機関		-	2	-	2
令和5年度	保健所	前期	30	3	10.0	0
		後期	28	2	7.1	0
	委託医療機関		-	2	-	2

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位:件)

区分 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数	35	31	26
医療特別手当	-	1	1
特別手当	1	-	-
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	25	20	18
保健手当	4	4	4
介護手当	1	1	-
埋葬料	4	5	3
健康手当	26	21	20

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。